



# 研修センター通信

Vol. 18  
平成27年4月10日  
発行・教育研修センター

## 平成27年度

### 初期研修医23名でスタート!!

平成27年度は新たに13名を迎え、計23名(一年次12名、二年次11名)で初期臨床研修がスタートしました。10月からはさらに1名が加わり、24名となります。

4月はオリエンテーションも多く、研修ローテ科を不在にしご迷惑をお掛けします。指導医・上級医の先生方には、日常業務のお忙しい中ですが、今年度も研修医の指導方よろしく願います。

また看護部・技術部・事務部・センター部門の皆さんにおいても、社会人として、医療人として立派な研修医となるよう指導・育成をお願いします。



H27.4.1採用初期研修医



オリエンテーション風景(採血、吸引)

※4月8日付けで、  
一年次研修医の保険医登録が完了しました。

「年度当初あいさつ」

副院長兼教育研修センター所長  
(初期臨床研修プログラム責任者)

中村 利夫



この春新しく藤枝市立総合病院に  
来られた研修医の皆さん、職員一同  
皆さんを歓迎します。初期研修は学  
生から社会人への転換の時期でもあ  
ります。初期研修がはじめての社会  
人経験となる研修医も多く、医師と  
いう重責の中でのストレスは大きなもの  
ではありませんが、恐  
れることなく、むしろ自分の成長の糧  
となるよう頑張ってください。  
私たちも皆さんが有意義な研修生活  
を送れるよう配慮しながら厳しくも充  
実した2年間の研修生活を送れるよう  
応援します。今年度は女性研修医の  
数も多いため、皆さんのニーズに細  
かく配慮しながら厳しくも充実した  
2年間の研修生活を送れるよう応援  
します。何か相談事があったらいつ  
でも教育研修センターのスタッフに  
声をかけてください。研修2年目  
にはいった研修医の皆さんも一年前  
を思い出し、先輩への温かい助言を  
お願いします。また将来の専門医を  
見すえながら、医師として大切な最  
初の2年間が充実した時間となるよう  
頑張ってください。

平成27年度より研修プログラムも  
一新しました。その特徴としてチ  
ーム医療と救急医療研修の充実があ  
げられます。平成27年4月から救急  
センターが本格的にオープンし救急  
研修を研修1年目と2年目に必須  
としました。この時期に多岐多彩な  
症例を経験することが非常に大切で  
す。また当直体制もより充実させ、  
初期臨床研修の目的であるプライマ  
リ・ケアの修得に適切な環境の整備  
もはかりました。研修医ひとりひと  
りが「緊急の疾患に的確に対応でき  
る。」と自信が持てるような医師と  
なるよう頑張ってください。

将来どのような専門分野に進もうと  
も藤枝での初期臨床研修で習得した  
知識と基本的な診療能力が皆さんの  
必ず役に立ちます。

### <4月予定>

- 15日(全員) 医局会
- 16日(全員) 研修医症例発表会
- 20日(石川、中村仁) 感染・医安対策委員会
- 23日(石川) 診療部会議
- 28日(全員) 感染・医安対策研修会

### <5月予定>

- 11日(全員) 藤枝学術カンファランス
- 14日(全員) 研修医ミニレクチャー
- 16日(全員) 脳外科講演会

※ホスター等で日時を確認し出席すること  
※研修医の代表が出席するものについては、出席後、全研修医に伝達すること

「初期研修を迎える皆さんへ」

統括診療部長 丸山 保彦  
(初期臨床研修プログラム責任者)

初期研修医の皆さん、  
ようこそ藤枝市立総合病院へ。

初めての病院、藤枝の印象はいかがでしょうか。これからこの病院で研修をする期待感と緊張感で胸がいっぱいと思います。まず、早く病院と街に馴染むため、研修室に閉じこもらず、指導医の後(金魚の糞のように)ついて回ってください。

私が研修医になった時(ずいぶん昔ですが)に始めに言われたことは、「人の名前」(指導医だけでなく特に看護師さんとコメディカルの人たち)と、「物品の在処」を覚える、でした。コミュニケーションをとるには人の名前が必要で、採血や点滴等の処置を素早く行うためにはモノの在処を知っていないければなりません。後から考えると職場環境に慣れるための一歩を踏み出すための助言だったのだと思います。

さて、2年間の研修を乗り切るには山あり、谷ありです。まず、心身ともに健康に注意すること、そして仲間を作り、良き指導医を見つけてください。困ったことがあったら一人で抱え込まないで研修センターや上級医に声を掛けてください。

先生方の成長を楽しみにしています。

